

令和2年度新しい東北「官民連携推進協議会」(実践の場)における東日本大震災10年目イベントについて

i 部 基調講演 東北大学 原 信義 副学長

令和2年8月21日現在

ii 部 分野別グループワーク < 3分野 ごとの概要 (案) >

宮城復興局

分野	被災者支援分野	産業復興支援分野	まちづくり分野
テーマ	「広域支援団体連携推進について」	「パートナーシップによる産業の創造的復興に向けて」	「持続可能な防災まちづくり」(仮)
概要	被災者支援に係わるNPO団体等が効果的・効率的に活動するため広域支援団体は重要な役割を果たしている。地域の広域支援団体のネットワーク体の1つである「みやぎ広域支援団体連携担当者会議」を通して、復興活動の振り返りや今後の連携の展望を検討していく。(主として、昨年度作成した「東日本大震災における広域支援団体対応振り返り報告書」を踏まえ検討していくもの。)	水産加工業関連、地域復興マッチング「結の場」、観光関連、復興・創生インターン等、官民が連携した産業復興に、最前線で取組んできた方々に取組の紹介・成果、今後の課題、目指す姿等についてスピーチ頂き、参加者と意見を交わす。 ※参考資料として、産業復興施策や復興状況をまとめた資料を作成する。	震災の教訓から、自主防災活動の活性化に取り組む被災地域は、次の災害への備えを検討し、地域全体で共有することがコミュニティ形成へとつながっている。地域コミュニティのリーダー、地域の取り組みを後押しする行政担当者、学識経験者、NPO団体等が一体となって取り組んだコミュニティベースの防災活動とそのノウハウについて情報共有し、持続可能なまちづくりや連携のあり方について考え、発信する。
形式	グループワーク	パネルディカッション形式	グループワーク(3地域×2名 司会者、書記、各1名)
討議内容	1. インプットトーク <40分> (1) みこし連構成団体から ・ 自団体の紹介 ・ 振り返り報告書のコラムから (2) 「みやぎ広域支援団体連携担当者会議について」 (3) 「東日本大震災における広域支援団体対応振り返り報告書について」 ・ 東日本大震災におけるみこし連参加団体の活動と課題 ・ 大規模災害時の県域団体の支援傾向	1. 事例紹介(復興庁の産業復興施策等を軸に) ・ 「結の場」 ・ フィッシャーマンジャパン関係の水産業振興 ・ 観光振興 ・ 官民連携での事業について 2. 過去の振り返り ・ どのような経過、思いで取組が始まったか。 ・ 取組の内容はどのようなものか。 ・ どのような関係性・繋がりの中で取組んできたか。 ・ 取組の成果は、どのような成果事例があるか。 ・ 良かった点、改善すべき点	1. 事例紹介(宮城県内で震災後に新しいまちづくりに取組んだ地域) ・ 「行政やNPO団体等と連携して取り組んだ住民主体のまちづくり」 ・ 「震災の教訓を生かした防災の取組」 ・ 「その地域ならではの課題解決の取組と今後の目標」 2. 過去の振り返り ・ 新しいまちづくりに向けて取り組んだ住民組織づくり ・ まちづくりに協働して取り組んだ連携体制 ・ 連携から生まれた特色ある取組または定着した取り組み ・ 防災訓練や防災組織に関する取組 ・ 様々な機関・団体との連携ノウハウ ・ 乗り越えた課題、残っている課題、新たに発生した課題
	2. 問題提起 <5分> (1) 災害対応のための連携体制の構築について (2) 役割分担の整理について (3) 平時の関係性の再考	3. 今後の展望 ・ 残された問題、課題 ・ 今後の活動をどのように考えているか。どうしていきたいか。 ・ 今後の取組(あるいは今後の災害時)への教訓は。	3. 今後の展望 ・ 全国共通の課題(住民の高齢化、担い手不足等)解決のための取組目標 ・ 行政や地域の民間企業、NPO団体、大学等との連携のあり方 ・ 「自助」「共助」の取り組みをさらに強化し、防災体制を確立するためのコミュニティづくり、見守り体制づくり
	3. 今後の展望について(討議) (県災害ボランティアセンター協力体制構築等について)		
参加者等	【司会者】 ・ 宮城県サポートセンター支援事務所 真壁さおり氏 【グループワーク参加者】 ・ 社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 震災復興支援室 北川 進 氏 ・ 社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティア総合センター 稲邊 康宏 氏 ・ みやぎ心のケアセンター 樋口 徹郎 氏 ・ 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN) 三浦 隆一 氏 ・ 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター 青木 ユカリ 氏 ・ 特定非営利活動法人 地星社 布田 剛 氏 ・ 一般社団法人 みやぎ連携復興センター 木村 正樹 氏 ・ 一般社団法人 みやぎ連携復興センター 石塚 直樹 氏	【コーディネーター】 ・ 東北大学大学院 経済学研究科 福嶋 路 教授 【パネリスト案】 ・ 山本啓一朗 氏 NEC(株) 「結の場」発案者 ・ 松本裕也 氏 (一社)フィッシャーマン・ジャパン ・ 竹井 智宏 氏 (株)MAKOTO 代表取締役 ・ 阿部 憲子 氏 南三陸 ホテル 観洋 女将 【参加者想定】 ・ 意見交換会出席団体様の関係者 ・ 「結の場」に関わった方々(支援企業、被災地企業、復興庁職員等) ・ (一社)フィッシャーマン・ジャパンの関係者(漁業者、水産加工事業者、行政等) ・ 復興・創生インターン等の関係者(地域CDN機関、受入企業様、学生・OB、行政等) ・ 専門家、他地域の災害担当者、商工団体等	【司会者】 ・ 東北大学災害科学研究所 佐藤 翔輔 准教授 【参加地区候補】 気仙沼市鹿折地区 ・ 鹿折まちづくり協議会 会長 熊谷英明氏、前事務局員 小山陸史氏 ・ 気仙沼市震災復興企画課、危機管理課(オブザーバー) ・ 住民代表(自治連)(オブザーバー) 石巻市のぞみ野地区 ・ 一般社団法人石巻じちれん 事務局長 田上琢磨氏 ・ のぞみ野地区住民代表 新蛇田第一集会所運営委員会 委員長 相原駿氏 ・ 石巻市復興政策部地域協働課(オブザーバー) ・ 石巻市総務部危機対策課(オブザーバー) 名取市閑上地区 ・ 閑上中央町内会 会長 長沼俊幸氏 ・ 名取市建設部閑上・北釜整備課 課長補佐 佐藤浩氏 ・ 住民代表(オブザーバー)
	【事務局】 PwCコンサルティング合同会社、宮城復興局 被災者支援班	【事務局】 PwCコンサルティング合同会社、宮城復興局 産業支援班	【事務局】 PwCコンサルティング合同会社、宮城復興局 気仙沼支所、石巻支所

iii 部 総括

発表者	・ 社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 震災復興支援室 北川進氏	・ 東北大学大学院 経済学研究科 福嶋 路 教授	・ 東北大学災害科学研究所 佐藤 翔輔 准教授
-----	----------------------------------	--------------------------	-------------------------

副代表の分野別への参加

分野	被災者支援分野	産業復興支援分野	まちづくり分野
副代表	れんぷく	七十七銀行 中小機構	東北大学 れんぷく
	宮城県庁（分野特定せず アドバイザーとしてはまちづくり分野）		